

---

## 活動の概要

2025 年に契約期限を迎える学内ネットワークについて、6/10 より委託業者と毎週打ち合わせを行い、システム情報の収集や移行計画の策定を進めた。また、実際の移行作業にも携わった。なお、現システムでの不具合対応など、学内ネットワークを安定して利用できるようなシステム管理らと運用に携わってきた。また、博士後期課程 3 年生の学年担当として対応をした。

---

## 学内での活動

### 1 制作基礎（機材講習、統計解析）を担当<博士前期課程>

機材講習（前田先生、システム管理専門職と担当）では、本学のネットワークでできることや学内サービスなどを紹介した。統計解析では、前半に統計の基礎や検定に関する講義を行い、後半は各自が演習課題に取り組む形式とした。

### 2 制作演習 B（技術）を担当（共同で担当）<博士前期課程>

LLM や RAG を中心として演習を実施した。昨年はクラウドを中心に行ったが、クラウドの利用制限でうまくできない場合もあるため、Local LLM での実施を想定した内容に変えることで試行錯誤しながら学べるハンズオン形式とし、受講者が技術の流れや構造を把握できるよう工夫した。その後各自が取り組む内容を検討し、実装等をしてもらった。準備したサンプルをそのまま実行できる工夫として Docker を導入し、手順書も整備することで、学生が速やかに実践に取りかかれるよう配慮した。

### 3 メディア表現基礎 4（計画）を担当（共同で担当）<博士前期課程>

メディア表現基礎 4 の主担当として実施した。研究計画書をはじめて書くという学生もいるため、記載時の注意点や事例については、共同担当の先生方にも紹介いただき、学生が十分に書き直しに取り組めるよう配慮した。また、本学が利用できる資料・リソースの紹介や論文を読み慣れていない学生に向けて勘所なども授業の中で紹介した。

### 4 メディア表現研究 I を担当（共同担当）<博士後期課程>

研究活動で必要となる理論化について、自身の経験や工学の立場から紹介した。後半は共同で担当している先生も含めてディスカッション等を行った。

### 5 システム委員会（委員長）

学内ネットワーク、学内サービス、クラウドサービスの運用状況の把握など、ネットワーク管理を中心とした業務を担当した。年末に行った新ネットワークに伴う学内向けの連絡等も職員らと共にいった。

## 6 ネットワークの保守・運用などについて

本学のネットワークの運用や保守など、ネットワーク環境の不具合・セキュリティ対応や利用方法の調整を業者らと検討し実施した。ネットワーク機器や仮想環境に脆弱性が発見された際には、学内への影響を最小限に抑えつつ迅速に更新できるよう調整した。

## 7 生成 AI の学内利用について

昨今の生成 AI サービスの学内利用をしやすいするため、今年度より教員を中心に試験的に導入したりするなどして学内への導入についての活動をシステム委員会として実施した。

## 8 2025 年度のネットワーク更改への対応

現システムは維持しつつ、安定した稼働ができるような構成となるように、新ネットワークを請け負う業者と導入方法やスケジュールなどの調整を行った。なお、導入に利用するソフトのライセンスがクラウドサービスとして管理されることが増えたため、ベンダーと構築業者との間での対応なども行った。12 月末が構築期限ということもあり、大学内での学務と切替日の調整も行った。

学内の機器はデータセンター（DC）に設置されているため、DC 側の機器の切り替えと学内側の切り替えを分けてスムーズに移行できるようにした。

DC 側の機器の切り替え： 2025 年 11 月 25 日

学内側の機器の切り替え： 2025 年 12 月 22-24 日

## 9 Light on the Net 本学基盤への移行サポート

「清流の国ぎふ」文化祭より本学の図書館で展示をしている、藤幡先生の<<Light on the Net>>のサーバをネットワーク更改のタイミングで学内プライベートクラウドサービスの一環として維持するようにサービス移行が円滑に進むよう、調整・支援を行った。

---

### 学内外での活動

#### 1 学校運営協議会委員として参加

岐阜県立大垣特別支援学校の学校運営協議会委員として参加した。同校では学校独自のメディアを先生らが自ら作り教育を行っていることから、それらをさらに活用し子供たちへの効果的な教育環境となるようにアドバイスを行った。

---

### 学外での教育活動

#### 1 朝日大学歯科衛生士専門学校で講師

朝日大学歯科衛生士専門学校で、非常勤講師として「情報処理」の講義を担当した。基本は対面授業としたが、オンライン環境にも対応可能なカリキュラムとした。